

日本アレルギー学会 基礎研究支援プログラム

日本アレルギー学会
選考推薦委員会

日本アレルギー学会では「Novartis Pharma Grants for Basic Research 2021」に応募申請しておりましたが、採択されました。この「Novartis Pharma Grants for Basic Research」は、医学研究を推奨し、医療の進歩への寄与を目指した 医学関連学会が独立して企画・運営する基礎研究への助成プログラムに対して、ノバルティス社が支援する制度です。

当学会では、昨年に引き続き「基礎研究支援プログラム」によって支援する基礎研究を、下記の要領で公募いたします。学会員の皆様には、ふるってご応募いただきますようお願いいたします。

募集条件（助成対象者等）

- 研究代表者は少なくとも2年以上の会員歴（2年間の会費納入履歴あり）を有する日本アレルギー学会会員に限る。申請時50歳未満とし、教授職またはそれに相当する職位に就く者を除く。
- 対象は気管支喘息に関連した基礎研究とする。尚、本プログラムにおける基礎研究とは喘息の発症、病態や進展メカニズムに分子、細胞、遺伝子レベルからアプローチし、喘息の根源的な本態解明を目指す研究とする。人を対象とする医学系研究（人の試料・情報を含む）も対象となるが、医薬品等を人に対して用いることにより、当該医薬品等の有効性又は安全性を明らかにする臨床研究は除く。
- 研究によって明らかにしようとする達成目標が明確で、その結果が学会員に寄与することが期待され、かつ実施可能な研究であること。
- 講座または診療科の最上位役職者（教授、診療科長、診療部長など）の承認を得ていること。
- 対象施設は、イ）国（国立大学法人を含む）、地方公共団体（公立大学法人を含む）、及び学校法人が運営する大学またはそれに相当する高等教育機関の医歯薬学系学部またはその附属病院、ロ）法令上、研究機能を併せ有する病院（国立病院機構傘下の臨床研究センター、臨床研究部など）、ハ）医療機関を開設する法人の研究部門（研究所）
- 製薬企業からの外部資金をすでに研究費（200万円以上相当）として獲得している研究は対象としない。但し、ノバルティス社から既に支援を受けている研究については、支援金額の多寡を問わず対象とならない。採択後にこれらに反することが判明した場合も失格とする。
- 1研究者1案件とし、一講座または一診療科からの応募は最大2件までとする。尚、昨年度の当該プログラムに採択された個人あるいは1講座または診療科は対象外とする。
- 製薬企業に所属する研究者は対象としない。

研究支援実施の要領

本プログラムによって支援する助成額は一研究当たり 200 万円とし、助成件数は 3 件。日本アレルギー学会選考推薦委員会が募集及び審査を行う。最終的には理事会の承認を得る形で支援研究、支援額を決定する。

- 申請に必要な書類は、申請者及び研究協力者の履歴、研究計画書（研究目的、実施方法、期待される今後の発展性など）、申請者の研究業績、資金の用途（研究終了後、支出明細を提出する）、申請者の研究資金獲得状況（別紙 1）。

http://www.jsaweb.jp/modules/about/index.php?content_id=29

- 備品費や人件費も認めるが全体に占める比率は妥当な範囲とする。謝金など人件費に充てる場合は、源泉徴収など税務上の適正な手続きをすること。
- 採択された場合、助成金は申請者自身ではなく、申請者の所属施設に支払われる。
- 研究計画書送付先

〒110-0005 東京都台東区上野 1-13-3 MY ビル 4 階

日本アレルギー学会事務局「基礎研究支援プログラム」係 宛

TEL : 03-5807-1701 FAX : 03-5807-1702

E-mail : info@jsaweb.jp

※応募用紙は PDF ファイルにて、上記あてメールでご送付ください。

ご応募のメールについては、2-3 日以内に必ず受領メールを返信いたします。返信が無い場合は、恐れ入りますが事務局あてお問い合わせください。

公募結果・採択結果の公開

- 選考推薦委員会において採択課題が決定し、理事会で承認され次第、速やかに応募者にメールにて結果を通知する。同時に、日本アレルギー学会の HP 上で公表する。

研究結果の報告と公表

- 予定された研究終了後 3 か月以内に学会へ研究実績報告書（別紙 2）と経費所要額精算調書（領収書添付）を提出する（別紙 2）。本来の使用目的以外での使用と判断された場合は研究助成金の返却を求められることがある。

http://www.jsaweb.jp/modules/about/index.php?content_id=29

- 研究結果は日本アレルギー学会学術大会で発表する。学術雑誌（学会が刊行する英文誌または和文誌が望ましいが、他の分野での学術雑誌も可）に論文として掲載することを目標とする。なお、結果の公表の際には「日本アレルギー学会基礎研究支援プログラム」(The Basic Research Support Program from Japanese Society of Allergology) を受けたことを明示する。